



藤岡産の美味しいナシはふじ娘から手渡されました。



季節の味覚 藤岡産の美味しいナシ 9/14

みずみずしい果肉とシャリシャリとした食感が魅力の藤岡産のナシが旬を迎えました。今年は天候不順や害虫被害に悩まされたことから、共進会には例年よりも少ない数が出品されました。出品されたナシは市役所玄関にて販売が行われ、粒ぞろいのナシはあっという間に売り切れしました。7日には、ららん藤岡にて300個のナシが配られ、美味しいナシを県内外にPRしました。



いろいろな体験と楽しい夏の思い出ができました。



自然を満喫 親子サマーイベント 9/1

美九里西小学校他で稲穂の会による親子サマーイベントが行われ、36人が参加してお寺での座禅会や流しそうめん、高山社跡付近の川でマスのつかみ取りを楽しみました。

午後に行われたマスのつかみ取りでは、子どもたちは川に入ると「冷たくて気持ちいい」とはしゃいでいました。マスを放流すると怖がることなく競うようにつかみ取りが始まり、中には片手に1匹ずつ捕まえる子もいました。

初めて本格的な抹茶の味を楽しみました。



心と体に必要な豊かな体験 チャレンジキッズフェスタ 9/14

群馬医療福祉大学藤岡キャンパスでチャレンジキッズフェスタが開催されました。学生が子どもたちのために企画したスライムやハーバリウム作り、段ボール迷路、ドラムなどの楽器、茶道や看護体験などのブースがあり、子どもたちは思い思いに楽しんでいました。



いろいろな種類の生き物がいることがわかりました。

農 どんない魚がいるのかな 農業用水の生き物調べ 9/14

篠塚地内の中村堰分水工で魚と遊ぶ農業用水の生き物調べが開催されました。120人が魚取り用の網とバケツを手に参加し、水路に入ると子どもたちは魚が獲れるたびに歓声を上げていました。獲れた魚はフナやコイなどで、農業用水路にすむ生き物を楽しく学びました。

ひゃくけんつじ とりて
東日野金井城「百間築地の砦」の石垣を観察する。



東 平井城を再認識する勉強会 日野金井城の痕跡を歩く 9/7

平井城を再認識する勉強会が金井地内で開催されました。参加者21人は、平井城と関係の深い東日野金井城の痕跡を歩き、高山氏の成立や戦国時代の日野谷周辺の、上杉氏・武田氏・北条氏の勢力争いなどについて、東日野金井城の発掘調査成果を元に学びました。



藤岡の埴輪づくりの特徴について説明を受ける参加者。

埴輪の匠、藤岡にあらわる んまの埴輪を考える 8/31

藤岡歴史館で夏季企画展が開催され、右島和夫さん(県立歴史博物館長)が講演しました。古墳時代の群馬で栄えた東国文化を象徴する埴輪。その埴輪づくりが最も盛んな地域の1つだった藤岡の埴輪の特徴を解説すると、参加者は興味深そうにメモを取っていました。